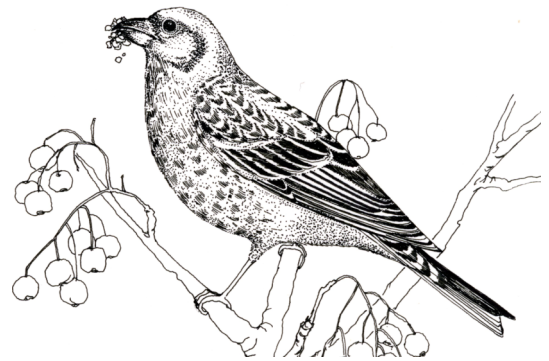


2016年9月20日発行



めっきり涼しく？寒くなりました。
あと一月もすると、山からあざやかな赤い色のギンザンマシコ（アトリ科）が降りてくる季節。山は、秋の木の実が色づくでしょう。サルナシ（コクワ）の甘い香りもそろそろでしょうか。



みなさん こんにちは

6月議会が終わってから、気温の低い日が続いて

いましたが、なんと8月に入って立て続けに台風が北海道へやってきました。

信じられないほどの広大な被害をもたらし、斜里町内も大きな被害を受けました。避難指示により避難所へ移動された方もいらっしゃいました。

大変な被害だったと思いますが、人的被害がなかったことは幸いだったと思います。

今回の台風被害で亡くなられた方に、心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、町長の町政報告も台風被害状況で始まった9月議会です。

町の動き、決まったこと、変わったこと、議会の様子などを私の意見や考えも含めて、お知らせいたします。
読んでください。

知床の魅力は
知床の課題
でもあります



観光の動き と ヒグマと人と

6月議会の報告では、昨年よりも増えていた観光客でしたが、総入り込みでは8月時点で減少しています。台風の被害キャンセルなどの要因もありますが、外国人は依然として増えています。全道、全国的に各地での被害は、人の動きにも観光にも影響が大きそうです。

そして・・・

斜里町では毎年、北海道からの助成金がヒグマ対策費に当てられます。

今回の事業費の名称が「ヒグマ生息地におけるヒト側コントロール方策の研究事業」です。知床ではこれまでも野生動物との共生のために、私たち人間がルールを守って野生動物と接しようという取り組みや行動調査、習性などを知床財団が中心となって続けられています。

そんな中、今シーズンは釣のお客さんとヒグマとの事故につながるような動きがあり、幌別川での釣の立ち入りが禁止されました。（現在は解除されています）

事故が起こってしまったら、観光全体にも影響します。

ゴミを捨てない、当たり前前のルールすら守れない人がいる現状。こうした、人が守るべき約束を人とヒグマの間でもしっかりと構築できたら、知床にとってはとてもプラスになるでしょう。

そして、今回は魚の残渣を入れる「生ゴミステーション」が設置されました。「いけない！」だけではなく、現状の課題を捉えての対応だと思えます。

避難場所の
確認を!

・ 今回の台風で町が受けた被害とそれに要した金額

8月からの台風襲来による被害額は、町の施設、道路などだけで約3000万円となりました。個人の農業施設、あるいは個人の家屋被害も含めたら、大きな被害です。でも、とにかく、人的被害がなかったことは本当に幸いでした。

これからも、どんな災害が起こるかわかりません。日頃から防災への意識を高めることが大切です。同時に、皆さんの日頃からの情報提供も、危険回避につながる事にもなります。気づいたことはぜひ、町へ。



・ オホーツクサイクリングの活性をはかるために、北見市などが中心となって広告活動を行うほか、サイクリング観光DMO設立事業費などに、斜里町分として265万円を負担します。35回の開催を重ねるオホーツクサイクリングですが、最近は参加者が減少しています。社会全体では、サイクリング人気が高まっているので、しっかりと立て直しが必要かもしれません。今年の参加者は686人。参加者最多は1997年の1603人です。

・ 大谷幼稚園が、幼保連携型認定こども園に移行されます。0歳～2歳児受け入れの施設整備が行われます。とりあえず、1歳～2歳の子供受け入れとなり、来年4月に開設されます。斜里町の待機児童は、ずいぶん少なくなるはずです。子育て環境の選択肢も増えますね。

・ ウトロ支所に災害時などに活用できるWi-Fiの設置。今年の予算に計上されているのに、どうしてまだ?設置できないのでしょうか?
・ そう言えば、国保病院の旧靴置場は授乳スペースのはず?まだ、できてない・・・
早くできた方が、町民にとってはよいはず

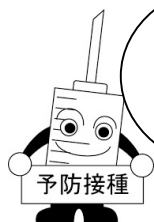


・ B型肝炎予防接種が定期化事業となりました

なんのこと?と思いましたが、B型肝炎ウィルスに感染すると、将来は肝がん罹患するリスクが高くなります。乳幼児の時に予防接種を受けることで、そのリスクは低くなるそうです。でも、その効果が大きいのが、0歳から1歳ほどの間に接種することだそうです。

対象は、今年4月1日以降に生まれた赤ちゃんです。3回の接種をしなくてはなりません。

10月1日から実施されるので、対象となる方は、町の保健師さんへ相談してみたいかがでしょうか。接種費用一回3850円×3回分が無料となります。接種する、しないの自由はあります。しっかり、調べて、相談しましょう!



接種のスケジュールが難しいかも

予防接種

・ スクールバスの利用が多くなった斜里町ですが、バスレーンが設置されていない場所での乗降が多く、安全対策が課題となっています。今回は、ホクレンの土地を利用してもらい、バスレーンを設置します。まだ、多くの箇所ではバスレーンはありません。

また、一部のバスにはスクールバスの表示が車両後部に表示されていない車輛もあるそうです。全国的にスクールバス通学が増えていることもあり、交通事故死者が7歳前後の児童に多いとの報告もあるそうです。

みなさん、スクールバスの運行中、あるいは児童生徒の乗降には十分気をつけて運転してください。





議員のみなさんからも、防災や避難所に対しての声が出ていました。では、どうしなければならないのでしょうか。

・斜里町のまちづくり推進事業助成金で、現在、ウトロ地域で「地域で交流できる場所」づくりのために、ウトロの交差点に接する小さなスペースで「ウトロ・ポケットマーケット」を開催しています。

町内や近隣の方が、自家用野菜、パン屋さんが移動販売をしてくれるので、そこに人が集まります。いろいろな世代の人が、少しの時間ですが「こんにちは」と、言葉を交わしながら集まります。

先日、9月1日に開催したときには、防災や災害、避難の話になりました。高齢者の方、あるいは小さなお子さんのいる家庭などで、それぞれの状況に合わせた避難の方法や、日頃からの防災について話が弾みました。

こうした場は、道の駅・斜里で、自治会連合会女性部の方々が開催する「みちくさサロン」にもあり、とても大切な場になっています。「ちょっと集う場所」の存在は、いろいろなつながりを生む場所になります。日頃から、私たちは、日常でのつながりを大切にすべきだと思います。

災害 避難



高校の問題

全員協議会 「斜里高校の現状と支援について」

子供の数の減少を反映して、地元斜里高校へ進学する生徒の数が減っています。近隣では小清水高校が入学者募集停止になっています。4年前には斜里高校は3クラスから2クラスに減っています。最近の入学者減少は、2クラスの存続も危うくなりそうです。逆に、先日の新聞にも載っていたように、清里高校は1クラスから2クラスになります。さて、難しい問題です。

自分の将来を考え、希望して町外の学校に進むことも自由です。地元の学校へ進学も自由なはずです。

意見の中には、小中学生に「斜里高校どうしたいと思う？と、意見を求めては？」と言う声もありましたが、これは「子どもたちの進路の自由」や「学ぶ意志などの可能性」を狭く限定することになりかねません。我が家の子どもたちも、彼らの希望と、意志で町外への進路を決めました。

総合学科という斜里高校です。行きたい、進学したい学校とはどうあるべきなのか？そのために道立の高校ではありますが、斜里町として、どうすることができるのか、あるいは、どうすべきか、生徒獲得の取り組みについて議論が続きました。皆さんは、どう思いますか？

皆さんからの（対話・電話・メール・など）議員活動に対してのご意見

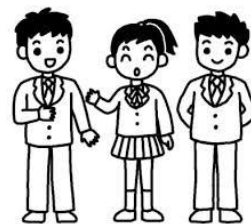
・定数に関しては立候補する議員は2種類。団体や政党からの立候補と、いわゆる独自無組織候補。町が活性化するために組織票は必要か？定数は変わるのか？変えたいのか？議会で検討するならば、この背景の違いも議論しないのか？どうして早く決まらないの？定数は誰が決めるもの？まず、12名、段階的に10名。

・議会モニター制度を設置する検討については、議員自身が町民の声や意見を反映して行くものではないのか？わざわざ、新たに町民にその役割をゆだねるのはどうしてか？ますます、議会と町民の間に距離ができるのではないのか？モニターの意見はどこに寄与するものか？現状の議会としてのあり方を、もう少し確認してからでは？

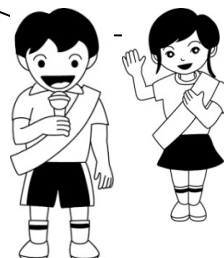
・議員報酬については 14名の議員が同じ報酬ではないのか？

・議長・副議長・委員長・他の報酬は？その根拠は？

他にもたくさんいろいろな意見をいただきましたし、議論、懇談させていただきました。感謝します。



議員定数 議員報酬



選挙

一般質問

一般質問で言いたかったこと

●町の持っている土地、そして旧校舎、旧施設などの利用方法、利用先探し、販売譲渡など、とにかく早く対応をとっていかねばならないと思います。土地は所有目的のない部分については企業などへ売却もしているとのことですが、今後は個人への売却も含めて、計画を持って欲しいです。また、施設はどんどん劣化していきます。あらゆる形で情報発信を行いながら、スピード感を持って対応して欲しい。

町長からは・「公共施設等総合管理計画庁内マネジメント会議」で、（長い名前の会議だわ(°_°) 具体的に取り組んで行きたい。と、答弁をいただきました。

●学校での部活動は、ずいぶん頑張って成果を上げています。そんな中、児童生徒の健康を考え、教師の負担軽減も考えながら、文科省では部活休養日設置基準を設けることになりました。斜里町の中学校、義務教育学校でどう対応していくのかを聞きました。顧問の熱意と意思に頼ることの多い部活動の現状と理解を、学校だけではなく、保護者も交えてしっかりと共有することが、良い形で部活動を続けることにつながるはずです。

教育長からは・現在も週に一日の休養日を設けていること。現実には顧問を受けてくれる教師の熱意によることが多いが、顧問の複数配置などを実施している。こうした問題を含めて、保護者、学校との課題共有を図って、よい形で部活の活性化を考えていきたい。と、答弁をいただきました。



議会では、何を聞いても、何を言っても良いという訳ではありません。議案の内容に関係すること以外は原則、認められていません。でも、一般質問は、議案に関係なく質問することができる場です。
*詳しくは「議会広報」にも掲載、そちらも読んでみてください！

*** 気がつけば、もう9月も終わり・・・
日没が早くなってます ***

「オホーツク管内町村女性議員の集い」と言う企画があります。2年前は斜里で開催し、その様子が北海道新聞にも掲載されました。現在は、オホーツク管内に18名の女性議員がいます。今回は西興部村で開催。12名の方が参加され、本当に活発な意見交換が行われました。女性議員の、こうした集まりは、本音で、そして実行性のある課題解決方法がたくさん語られます。今回は、福祉、そして子育て環境、さらに、地域で取り組む魅力ある産業連携のチャレンジを学びました。行政に頼るだけではなく、大きな組織任せではない取り組みを知りました。有意義な2日間を過ごせました。(もちろん自費参加)

来年は美幌での開催予定です。とても建設的な集いです！



地域でのイベントや催しに関わる時間が多くなりました。8月のお盆には、実家の父のお墓、そして祖父母のお墓参りをしてきました。釧路の母は、自己管理しっかりで、活動的にウォーキングや友人とお喋りに出かけていきます。この議会レポートを皆さんにお届けできたら、ちょっとゆっくり母との時間ができるかしら？そんなことを、考えながら・・・
では、次の議会まで・・・皆さんお元気です！



今年はサンマがまだ食べられない我が家です。サンマ大好きなのに・・・



ツイッターとフェイスブックで情報発信しています。最近ブログの更新をご無沙汰です。書かなきゃ！と気持ちは焦っているのですが、なかなか机のパソコンに向かう時間には眠くなってしまっている最近・・・頑張ります！

文中の誤字脱字については、お許しください。校正が苦手です。あらかじめ、ごめんなさい。

■ ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>
■ ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/>
「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104

桜井あけみ 議会レポート
コメントを待っています。
メールは koe@akemichan.net へ